

知っておきたい環境問題

多くの生き物が共存する自然の営み

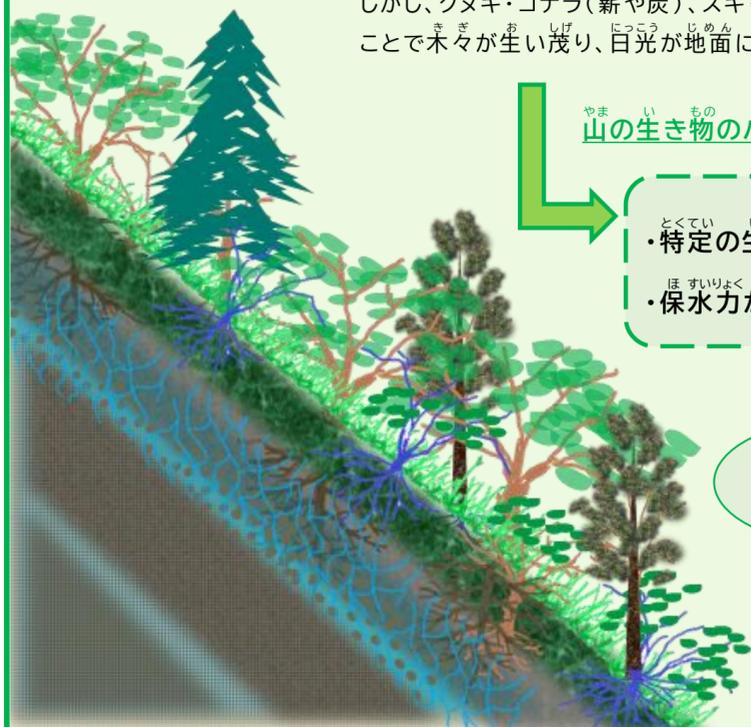
山は命と水の宝庫

日本は雨が多く樹木で覆われた山には大量の水が貯えられている。森の木々は土の中の根や菌糸を通じて、養分を共有しあい、生きていることが分かってきた。しかし、クヌギ・コナラ(薪や炭)、スギ・ヒノキ(建築材)が多く植えられたが、使われなくなったことで木々が生き茂り、日光が地面に届かず、木の葉や草が減ってきた。

山の生き物のバランスが崩れると!?

- 特定の生き物だけが増え、餌となる生き物が少なくなる
- 保水力が低下し土砂災害が起きやすい

木の葉や草を食べたいなー



人が入ることで維持される里山の自然

例えば、ホタルの生育には、
・幼虫のエサとなるカワニナ(巻貝)
・カワニナの餌となる落ち葉や野菜くず
・ホタルのサナギが過ごすやわらかい土
・成虫になってから過ごす木陰が揃った小さな川の流れが必要になる。

伸びすぎた木や草を切ると、
光や風が入るようになり、
花・虫・鳥が増えるだけでなく、
人も癒される。

地域の自然風土を尊重し、その生態系を維持していくことが人間の重要な役割だと考えられる。

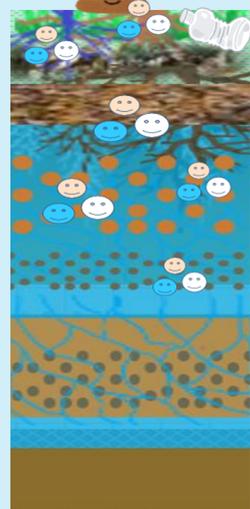


自然の循環



微生物の働き

プラスチックは分解しにくい、、、リサイクルしてほしい!



動物の腸の中にはたくさんの菌がすみ、食べた物を分解し体に吸収できる形に変化させている。吸収されなかったものは排泄され、さらに土や水の中の微生物の餌となり分解され、土に還る。

土の中で空気と水が循環することで、微生物によって生き物の死骸や糞もゆっくり時間をかけて分解されるため、きれいな地下水ができる。



地上の微生物は、海の生き物の成長にも影響している。